

# 失業者および女性の就業支援について

## 1. 政策提案

- 本県では、人のつながりや地域のつながりを強化することなどにより、若者、女性、障害のある人、高齢者、外国人など、誰もが多様な働く場に参加でき、力を発揮できる環境整備を図ることとしている。
- このため、失業者や女性の実情に応じた就業支援を漏れなく、ワンストップで提供できる仕組みに対し、新たに財政的支援をされたい。

## 2. 現状と課題

### (失業者)

- 本県の9月の有効求人倍率は0.62倍と全国平均を下回るなど低水準で推移しており、雇用情勢は依然として厳しく、未だ、外国人を含む多くの失業者が就職と併せて生活支援を求めている状況にある。
- さらに、震災および円高の影響により県内企業における非正規労働者の雇止め等による失業者の発生が懸念される。

### (女性)

- 本県では、女性の有業率は、24歳以下では男性と同様に推移しているが、25歳以上で差が大きくなり、30歳代で落ち込みが全国平均よりも深くなる「M字カーブ」を描いており、結婚、出産、子育て期に仕事を辞める女性が多い状況となっている。

県のアンケート調査によると、離職した女性の77.5%が、その理由を結婚や妊娠、出産、育児としており、また、離職中の女性の82.6%が再就職の意向を持っている。

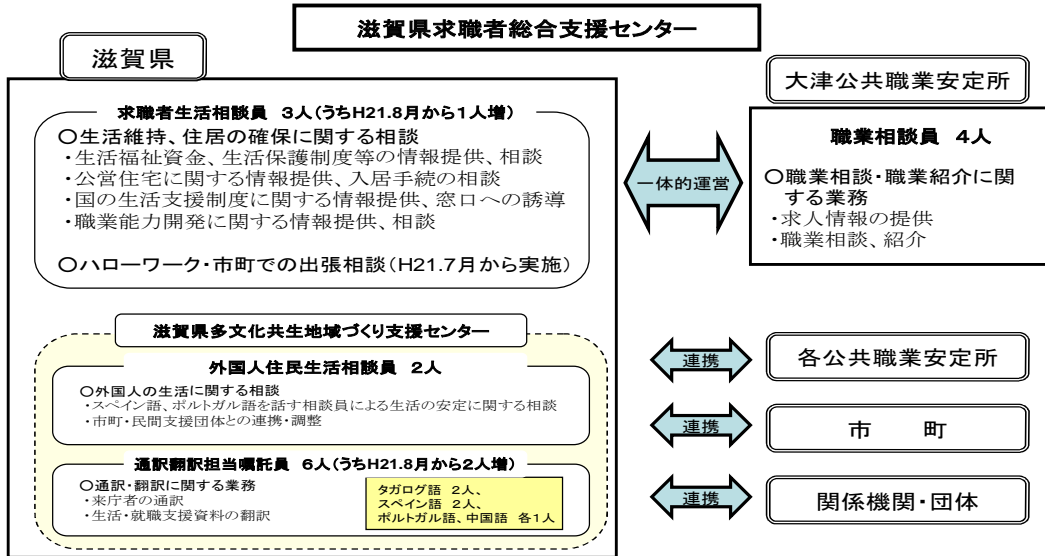
- このため、子育て中の女性が不安なく就職活動を行い、再就職するための支援の仕組みが求められている。

(厚生労働省、内閣府)

### 3. 本県の取組状況

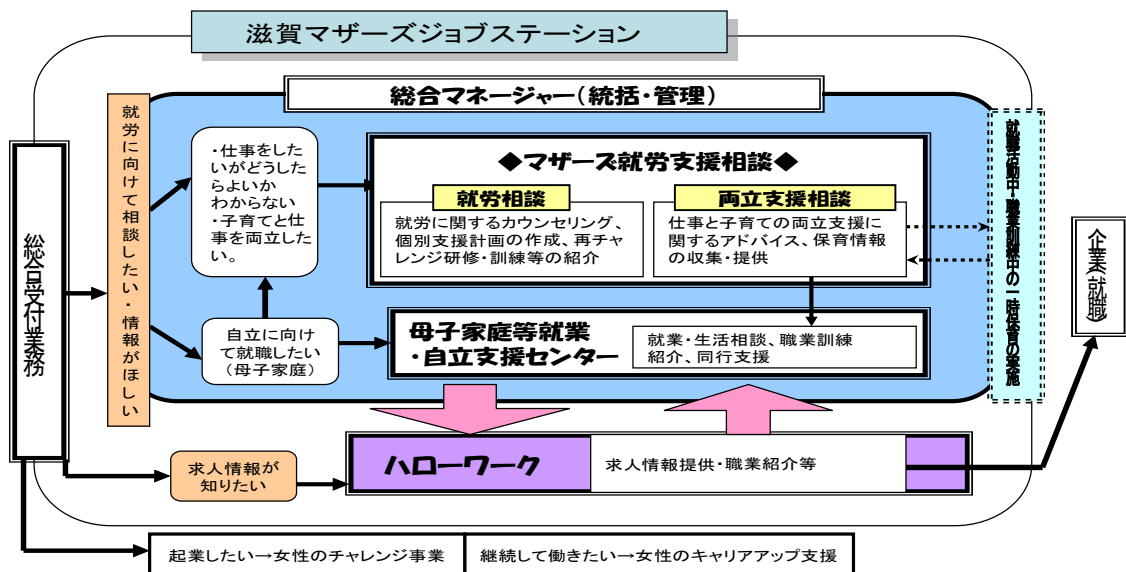
#### 「滋賀県求職者総合支援センター」の設置運営

- 本県では、平成21年3月より、全国に先駆け外国人を含む求職者に対する総合的な支援窓口として、国の交付金を活用し、ハローワークを併設した「滋賀県求職者総合支援センター」を設置した。



#### 「滋賀マザーズジョブステーション」の設置運営

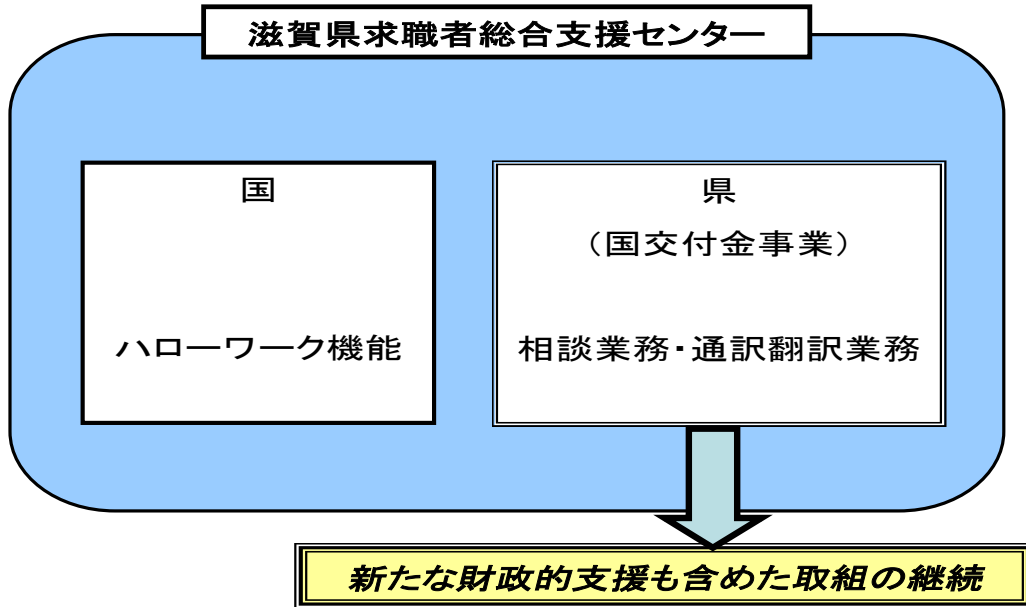
- 仕事と子育ての両立支援や、保育情報の提供、就職活動中の一時保育の実施、ハローワーク併設による職業紹介など、女性の就労をワンストップで総合的にサポートする、「滋賀マザーズジョブステーション」を本年10月に設置した。



(政策提案の概要)

(失業者)

外国人を含む多くの失業者は就業にあたり生活の問題など様々な支援を必要としており、職業相談・紹介と生活相談が一体となった求職者総合支援センターの取組について、新たな財政的支援も含めて継続をされたい。



(女性)

就労意欲はあっても仕事と子育ての両立に不安や心配を抱えている女性に対して、ハローワークでの職業紹介に至るまでの就労支援をワンストップで総合的にサポートできる仕組みについて、新たな財政的支援をされたい。

